重業悉 新25-0002

					平成2	4:	年行政	事業	レビューシ	<u> </u>			20 0002 労働省)
事	業名		۲	クターヘリ運航支			担当部			医政局			或責任者
事業 終了(予	開始 • 定)年度			平成25年度	~		担当部	果室	指導課 救急・	周産期医療等效	対策室	室長	:佐久間敦
会計	†区分			一般会計			施策	名		日常生活圏の中 きる体制を整備			刃な医療が効
(具	処法令 体的な も記載)			-			関係する通知	等		-	-		
(目指簡潔に	の目的 旨す姿を こ。3行程 以内)								を可能とし、また、リ 用することが可能。		ターヘリのイ	立置を持	把握することが
(5行	GPSを搭載したドクターへリの広域運用や運用に係る事後検証、また、リアルタイムにドクターへリの位置を把握するため、厚生労働省MAT事務局にモニター等を設置するもの。 と概要 「程度以 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・												芸労働省及びD
実施	地方法	■直:	接実施	□委託・	請負 ■	補助) D:	負担 ———	口交付		□その	他	
				- 11	21年度		22年度		23年度	24年	度	2	5年度要求
	章額 • 行額 ∶百万円)	予		可予算 								32	
予算		算の		E予算								_	
		状況		返し等		_							
				計		_							32
			執行 ————										
		=	執行率										目標値
	標及び			成果指標 ————				単位	21年度	22年度	23年		(年度)
	果実績 ・トカム)	モニタ	ター等の	設置			成果実績	_	_	_	_		
							達成度	%	-	-	-		
活動排	旨標及び			活動指標				単位	21年度	22年度	23年	度	24年度活動見込
活動	沙実績	広域:	運用や電	運用に係る事後	金証数		活動実績	_	-	-	-		-
							(当初見込み)		_	(-)	(-)	(-)
	当たり スト			-			算出根拠			-			
				24年度当初予算	25年度要求	•			<u> </u>	な増減理由			
平成	補	助金		-	21		P成25年度第						
2 4	J	宁費		-	11	E	日本再生戦闘	略に関っ	する「特別重点要	求」(ライフ分野)32百万	円	
2													
5													
· 度 · 予													
年度予算内訳													
訳		計		0	32	\dashv							

	事業所管部局による点検												
	評価	項目	評価に関する説明										
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・救急医療は、国民が安心して暮らしていく上で、欠かす										
状・ 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	ことのできないものである。 ・救急医療の充実を図っていくためにも、国の施策として										
第の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	実施すべき事業である。										
資金	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。											
၈	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。											
使流、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	-										
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。											
-	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。											
活	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。											
動実	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。											
績、	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_										
成果	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。											
果実績		※類似事業名とその所管部局・府省名											
	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。											
		点 検 結果 果											
予算監視・効率化ナームの所見 ドクターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的な運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の デジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。													
			な運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の										
		*クターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的 な	¢運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の ら優先度の高い事業である。										
		・・クターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的な デジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から	≎運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の ら優先度の高い事業である。										
		・・クターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的な デジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から	≎運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の ら優先度の高い事業である。										
		・・クターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的な デジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から	≎運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の ら優先度の高い事業である。										
		・・クターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的な デジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から	≎運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の ら優先度の高い事業である。										
		・・クターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的な デジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から	は運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の 5優先度の高い事業である。 算要求における反映状況等)										
		ジクターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的なデジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	は運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の 5優先度の高い事業である。 算要求における反映状況等)										
		ジクターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的なデジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	は運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の 5優先度の高い事業である。 算要求における反映状況等)										
		ジクターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的なデジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	は運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の 5優先度の高い事業である。 算要求における反映状況等)										
		ジクターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的なデジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	は運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の 5優先度の高い事業である。 算要求における反映状況等)										
		ジクターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的なデジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	は運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の 5優先度の高い事業である。 算要求における反映状況等)										
		ジクターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的なデジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	は運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の 5優先度の高い事業である。 算要求における反映状況等)										
		ジクターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的なデジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	は運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の を優先度の高い事業である。 算要求における反映状況等)										
		ジクターへリ運航支援等経費については、ドクターへリの効率的、効果的なデジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	は運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線の を優先度の高い事業である。 算要求における反映状況等)										

資 のでである。 資 のでである。 次 ののがいて、 ののがいて、 のでである。 ででは、 ののがいて、 のでである。 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のでは のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	

		A.岩手県		E.					
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)			
	_			_					
	計		0	計		0			
		В.	全 頞		F.	全 頦			
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)			
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最出されて記載されて記載を書する。 で記載途の別かる は、まうに記載)									
(「資金の流れ」 においてブロッ									
クごとに最大の 金額が支出され									
ている者について記載する。費									
目と使途の双方で実情が分かる									
ように記載)	= <u>+</u>		0	- 1		0			
	計	C.	0	計	G.	0			
	費 目		金 額 (百万円)	費目		金額(百万円)			
		Z &	(百万円)		,	(百万円)			
	計		0	計		0			
		D.			H.				
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)			
	計		0	計		0			

支出先上位10者リスト A

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1				$\Big/$	
2				$\Big/$	
3				\setminus	
4				\setminus	
5				\setminus	
6				\setminus	
7				$\Big/$	
8				$\Big /$	
9					
10					

							_			4	尹未街		机25-0003	
		1				平成 2	<u>5</u>	年行政	<u>事業</u>	レビューシ	<u>/ </u>	(厚生	生労働省)	
_	業名			口腔保健	推進事	業 ————————————————————————————————————		担当部	局庁		医政局		作成責任者	
	注開始・ 予定)年度			平成25	年度~	~		担当記	果室		科保健課		長:上條英之	
会記	計区分			一般	会計			施策	名	I - 1 - 1 率的に提供で	日常生活圏の中きる体制を整備		適切な医療が効	
(具	処法令 体的な も記載)			-	-			関係する 通知					推進に関する法律」 に関する法律基本的	
(目抄	: の目的 指す姿を こ。3行程 以内)									するための財政支				
(5行	業概要 行程度以 削添可)	「歯科口腔保健の推進に関する法律」に基づき、法律に規定する歯科口腔保健施策を推進するため、以下4事業に対し財政支援を行う。 ①地方公共団体に歯科口腔保健支援センターを設置し、地域の実情に応じた施策を進めるための体制の確保 ②歯科口腔保健医療サービスを受けることが困難な障害者等への検診の実施等 ③障害者等の歯科口腔保健医療サービスに対応出来る技術者の育成 ④医科・歯科連携の先駆的な取組に対する安全性や効果等の実証等												
実別	施方法	口直	接実施	□委	託∙請	負 ■	補且	カ ロ :	負担 ———	口交付	口貸付 ———————	口その他		
						21年度		22年度		23年度	24年	度	25年度要求	
	算額 • • 行額 ∷百万円)	予		切予算	_		_						92	
- 子. 作		算の		E予算			_							
執		状 況	繰起 	返し等	_									
(単位		āT			_								92	
			執行	額										
		執行率(%)					_							
			成果指標						単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
成身	目標及び 果実績 アトカム)	口腔	ロ腔保健支援センター設置箇所					成果実績		-	_	-	-	
		,				771		達成度	%	-	-	_		
				活動	指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
活動	指標及び 助実績 トプット)	補助	を行った	か所数				活動実績 (当初見込 み)	数	-	- (-)	- (-) (-)	
	ヹ当たり コスト			-	-			算出根拠			-		•	
_	_	1 目	Mr. J. 1. 2. 2	24年度当初	予算	25年度要求					主な増減理由			
平成24・25年度予算内訳	医療施設等	京施設等運営費等補助金 -				92		平成25年度	新規要	求				

	事業所管部局による点検												
	評価	項目	評価に関する説明										
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・地域における歯科口腔保健の推進は、国民が口腔の 健康を保ち質の高い生活を営む上で重要な役割であ										
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	る。 ・「歯科口腔保健の推進に関する法律」に基づき、法律に										
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	規定する総合的な施策を進められるように国が実施す べき事業である。										
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。											
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。											
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	_										
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。											
目・	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。											
活	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。											
動実	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。											
積	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。											
成		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	_										
成果実績	_	※類似事業名とその所管部局・府省名											
積	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。											
点検結果	新規事業	として、平成25年度概算要求											
		コ腔保健推進事業費については、歯科口腔保健法の公布・施行を受け、 対して支援を行うものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である											
	1	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	既算要求における反映状況等)										
		_											
		補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対	象となっている場合はその結果も記載)										
		_											
	0/=/==	関連する過去のレビューシートの事事											
十成2	2年行政	事業レビュー 平成23年行政・	事業レビュー										

資 のでである。 資 のでである。 次 ののがいて、 ののがいて、 のでである。 ででは、 ののがいて、 のでである。 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のでは のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	

					E.	
	 費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	, r	K &	(百万円)	Х 1		(百万円)
	 計		0	計		0
				н	F.	
		生 'A	金額			金額
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
弗口 . 体冷						
(「資金の流れ」						
においてブロックごとに最大の						
金額が支出され						
て記載する。費						
費目・使途 (「資金の流れ」 において最大され」 クごとに支出される。 金額で表出さい。 で記載をある。 で記載をのかかる ように記載)						
ように記載)						
	計		0.0	計		0
		C.	A 4T		G.	1 A 4T
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	1 4 1-
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
	<u> </u>					ı

支出先上位10者リスト A.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					

B.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					

		平成24年行政事業レビューシート(厚生労働省)														
_	業名		専	門医認定支援	事業	(仮称)		担当部	局庁		医政局		作	戓責任者		
事業終了(予	開始・ 定)年度			平成25	年度~	~		担当詞	果室		医事課			:田原克志		
会言	†区分			一般	会計			施策	名		日常生活圏の中 きる体制を整備			刃な医療が効		
(具	心法令 体的な も記載)			_	•			関係する計画、 通知等 るため、専門医に関する新たな仕組みを導入することとし、専門医認定のための基準の検討								
(目抄		や研り財政	修病院(郡 支援を行	¥)が作成す∛ う	る研修	゚ プログラム <i>0</i>)認定	など、研修実施		る新たな仕組みをを確保するために必						
(5行	美概要 行程度以 训添可)	隻以 ④総合医を含めた専門医制度の普及·啓発事業											-めの基準等の			
実加	地方法	□直接実施 □委託・請負 ■						助 口:	負担	口交付	口貸付	□その	·····································			
						21年度		22年度		23年度	24年	度	25年度要求			
	算額・	↗ ├──		刃予算			_							252		
予算		算の		E予算	_		_									
執	行額	状況		返し等	_		_									
(単1业	:百万円)	<i>沅</i>		計	_									252		
			執行	額	_											
		**	執行率	(%)												
 	コ 北西 でんっぐ	成果指標							単位	21年度	22年度	23年	度	目標値 (年度)		
成身	標及び						成果実績									
(アウ	トカム)		;	研修プログ [.]	ラム認	恩定数		達成度	%				_			
				活動	指標				単位	21年度	22年度	23年	 度	24年度活動見込		
	旨標及び 助実績							活動実績								
	ル ス 積 トプット)		Ę	専門医研修	実施加	 色設数		(当初見込						_		
								み)					<u></u>	()		
単位当たり コスト				-				算出根拠			-					
		自	Alle Comment	24年度当初	予算	25年度要					Eな増減理由					
平成 2 4 • 2 5	専門医認定	文援事	·耒(収杯)	_		252		平成25年度	新 規要	Ж						
年度																
予算内訳																
泥		 計		0		252										

		事業所管部局による点検							
	評価	項目	評価に関する説明						
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・医師の質の一層の向上及び偏在是正を図ることは国						
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	民のニーズがあり、優先度は高い ・専門医の認定や基準の作成等を中立的な第三者機関						
算の	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	が行うにあたっては、国からの財政支援が必要						
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。							
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。							
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	_						
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。							
•	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。							
活	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。							
活動実	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。							
績、	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_						
成果	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。							
果実績		※類似事業名とその所管部局・府省名							
495	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。							
専門医認定支援事業については、中立的な第三者機関を設立し、専門医認定のための基準の検討、研修プログラムの認定及び 研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。									
			り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 -	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 -	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 -	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 -	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 -	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 -	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 -	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。						
		研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであ 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 -	り、必要性の観点から優先度の高い事業である。 算要求における反映状況等) 東となっている場合はその結果も記載)						

	※平成23年度実績を記入
資金の流れ	
(貧金の受け 取り生が何ち	
(資金の例子) (資金の何子) 取り先いるかについて補足 する) (単 位:百万円)	
について補足	
する) (単	
位:百万円)	

		A.			E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		B.			F.	•
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			(173117			(1173137

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され て記載する。費 目と使が分かる ように記載)						
においてブロックごとに最大の						
金額が支出されている者につい						
て記載する。費						
で実情が分かる						
ように記載)	計		0	計		0
		C.			G.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

								事業番			25-0005	•
				. ,,,			レビューシ	_	(月		<u> </u>)
	業名	地域医療科	耳生計画に係る有 識	者会議開催経費	担当部	ß局庁 ———		医政局		作	成責任者	
	開始 • 5定)年度		平成25年度	~	担当	課室	指導課 医師研	笙保等地域医療対	村策室	室長	:平子哲乡	Ę
会討	+区分		一般会計		施策	名		日常生活圏の中 きる体制を整備			刃な医療が	が効
(具	処法令 体的な も記載)	-				計画、 1等		-	-			
(目指簡潔に	の目的	現在、厚労省1を把握すること	実施している地域[内で実施している「 ☆は、非常に非効率 がに、事業が行われ	地域医療再生計であるため、各て	画に係る有識者 ブロック(北海道	含議」 、東北、	こおいて、47都道/ 関東信越、東海北	存県を個別に呼び 陸、近畿、中国、□	、それぞれ			
各ブロック毎に現地で有識者会議を開催し、各県関係者から事業の進捗状況 有識者会議委員が分散して会議に出席(1会議毎に合計3~4人)し、その場また、ヒアリング内容を踏まえ、事業が行われている現地調査を行うことによりなお、本省内においても、各ブロック毎のヒアリング等の報告等を行う有識者を の、別添可)						の場でアドバイス等 こより、計画の書面	を行う。 だけでは把握しき				支び	
実施	拖方法	■直接実施	□委託・請	青負 □礼	甫助 □	負担	口交付	口貸付	□その	他		
				21年度	22年度		23年度	24年	度	2	5年度要求	<u></u>
		予当	初予算								12	
→ An	tr sta		正予算									
執	算額 • 行額	状 繰り	越し等									
(単位	:百万円)	況	計								12	
		執行	·額									
		執行率	(%)									
			成果指標			単位	21年度	22年度	23年	度	目標化	値 度)
	目標及び 関実績	各ブロックに	おいて有識者会	議を開催するこ	成果実績	-	-	_	-		_	127
(アウ	トカム)	状況を把握•	おいても都道府県 管理し、計画をよ 5り、定量的な目標	り充実したもの	ع(پیشی	%	_	_	_			
) u + x cu	活動指標	THE COURT OF THE C		単位	21年度	22年度	23年	 度	24年度活動	動見込
	旨標及び 助実績				活動実績							
	トプット)	有識者会諱	長の開催数		(当初見込	-		_				
					み)		_	(-)	(-)	(-)
	ご当たり コスト		-		算出根拠	:		-				
			24年度当初予算	25年度要求			Ė	Eな増減理由				
平 成	諸	 i謝金	-	2.0	平成25年度	新規要	求					
2	委員	等旅費	-	1.9								
4	職.	員旅費	_	1.9	1							
2 5	J	 	_	6.0	1							
5年度予算内訳					1							
予算					1							
内訳					1							
n/\		 計		11.7	1							

		事業所管部局による点検						
	評価	項目	評価に関する説明					
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・地域における医師確保や救急医療体制の整備は、国					
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	民の生活を守る上で重要な課題である。 ・国として、地域の医療提供体制の整備を支援する必要					
算の	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	がある。					
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。						
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。						
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	・同会議の開催に必要な経費のみを計上している。					
費目	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						
•	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						
活	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。						
活動実	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。						
績、	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_					
成果	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。						
果実績		※類似事業名とその所管部局・府省名						
198	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。						
予算監視・効率化チームの所見								
		予算監視・効率化チームの所見	ļ.					
	‡	予算監視・効率化チームの所見 地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優気	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開					
	±	地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 た度の高い事業である。					
	‡ †	地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優5	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 た度の高い事業である。					
		地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優5	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 た度の高い事業である。					
	± 4	地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優5	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 た度の高い事業である。					
	‡ 4	地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優5	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 た度の高い事業である。					
		地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優5	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 た度の高い事業である。 「算要求における反映状況等)					
	‡ †	地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優分 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 た度の高い事業である。 「算要求における反映状況等)					
	‡ 4	地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優分 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 た度の高い事業である。 「算要求における反映状況等)					
		地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優分 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
		地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優分 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 た度の高い事業である。 「算要求における反映状況等)					
		地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優分 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
		地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優分 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 た度の高い事業である。 「算要求における反映状況等)					
		地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優分 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開 た度の高い事業である。 「算要求における反映状況等)					
		地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再 崔し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優分 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開た度の高い事業である。 は算要求における反映状況等)					

資 のでである。 資 のでである。 次 ののがいて、 ののがいて、 のでである。 ででは、 ののがいて、 のでである。 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のでは のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	

		A.岩手県			E.			
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	_			_				
	計		0	計		0		
		В.	全 頞		F.	全 頦		
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最出されて記載されて記載を書する。 で記載途の別かる は、まうに記載)								
(「資金の流れ」 においてブロッ								
クごとに最大の 金額が支出され								
ている者について記載する。費								
目と使途の双方で実情が分かる								
ように記載)	= <u>+</u>		0	- 1		0		
	計	C.	0	計	G.	0		
	費 目		金 額 (百万円)	費目		金 額 (百万円)		
		Z &	(百万円)		,	(百万円)		
	計		0	計		0		
		D.			H.			
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	計		0	計		0		

支出先上位10者リスト A

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1				$\Big/$	
2				$\Big/$	
3				\setminus	
4				\setminus	
5				\setminus	
6				\setminus	
7				$\Big/$	
8				\setminus	
9					
10					

						平成2	4:	年行政	事業	レビュー	シー	サ 木田			労働省)
事	業名		多職種協	協働によるチ	ーム医	療の推進事業		担当部	局庁		医政	(局		作	成責任者
	開始 • 5定)年度			平成25	年度	~		担当	課室		医事	課		課長	::田原克志
会記	计区分			一般	会計			施策	名	I - 1 - 1 率的に提供で					切な医療が効
(具	処法令 体的な も記載)	-						関係する通知			の推進	について」	(平成22年		日 チーム医療
(目ま簡潔に	の目的 指す姿を こ。3行程 以内)			ム医療の実践 医療サービス			に普 <i>)</i>	及定着させ、	看護師	i、薬剤師等医療[関係職	種の業務の教	効率化・負担	目軽減€	等を図るととも
(5行 内。別	養概要 行程度以 削添可)			ム医療の更 [≠] ≷施する。	はる普	及・定着を図る	ためロ	こは、より一	層の職	種間連携や患者	への普	及が必要で	あることから	。、病院	団体、職能団体
実別	色方法 ————	口直	接実施	■委	託・請		補助 		負担			□貸付 	□その		, I
			4.4	切予算		21年度		22年度		23年度		24年		2	5年度要求 87
		予算		20					_		_				-07
	算額・ 行額	の状		返し等											
	:百万円)	況		計										87	
			執行	額											
		i	執行率	(%)											
				成果	指標				単位	21年度		22年度	23年	度	目標値(年度)
成身	目標及び 果実績 ルカム)	医療施設従事医師数 平成18年:263,540人、平成20年:271,897人 (103.2%)						成果実績	人	-		280,431	-		前回調査以上
		※医師・歯科医師・薬剤師調査より(2年ごと)						達成度	%	-		103.1	-		
江手 ++	と4布 ひょぐ			活動	指標				単位	21年度		22年度	23年	度	25年度活動見込
活動	旨標及び 助実績 トプット)	事業実施施設						活動実績 (当初見込 み)	施設数	_ 数		-	- (<u> </u>	ž	—) (8)
	・位当たり コスト				算出根拠				-						
NZ.		17 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	1_ / E	24年度当初]予算	25年度要求		7 th or to the	쇼(+ㅁ ==	- 12	主な地	曽減理由			
	多職種協働療の推進事			_		87	<u>-</u>	^Z 成25年度	新 規要	÷·····································					
		計		0		87	\neg								

		事業所管部局による点検								
	評価	項目	評価に関する説明							
目 的 状・	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業	・社会保障・税一体改革大綱においても、チーム医療を 推進するとされており、質の高いチーム医療の実践を全 国の医療現場に普及定着させるために必要な事業であ							
況予 算	0	となっていないか。	る。 ・効果的、効率的に行うには国で実施すべき事業であ							
<u>の</u>		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	る。							
資金		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。								
の流れ、		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。								
	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	-							
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-							
•		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								
活動		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-							
実		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-							
績 、 成	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担と	-							
果実績	_	なっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	-							
績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-							
	新規事業として、平成25年度概算要求 果									
		予算監視・効率化チームの所見	ļ							
		予算監視・効率化チームの所見 多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普別 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。								
	3 5	多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普 え	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を							
		多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普別 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を							
	3 5	多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普別 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を							
	*** UP	多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普別 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を							
		多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普別 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を							
		多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普別 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を 「算要求における反映状況等)							
	*** JET	多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普及 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を 「算要求における反映状況等)							
		多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普及 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を 「算要求における反映状況等)							
		多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普及 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を 「算要求における反映状況等)							
		多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普及 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を 「算要求における反映状況等)							
		多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普及 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を 「算要求における反映状況等)							
		多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普及 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を 「算要求における反映状況等)							
		多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普及 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を 「算要求における反映状況等)							
		多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普及 実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を (算要求における反映状況等)							

	※平成23年度実績を記入
資金の流れ	
(貧金の受け 取り生が何ち	
(資金の例子) (資金の何子) 取り先いるかについて補足 する) (単 位:百万円)	
について補足	
する) (単	
位:百万円)	

		A.			E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		B.			F.	•
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			(173117			(1173137

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され て記載する。費 目と使が分かる ように記載)						
においてブロックごとに最大の						
金額が支出されている者につい						
て記載する。費						
で実情が分かる						
ように記載)	計		0	計		0
		C.			G.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

車坐采旦 新25-0007

							3-7CH 3					25-0007
				平月	2 4	年行政	事業	レビューシ	<u> </u>	(厚	生	労働省)
事	業名	保健医療福祉	分野の公開鍵 事事	基盤(HPKI)普 集	及・啓発	担当部	局庁		医政局		作月	成責任者
	開始・ 定)年度		平成254	年度~		担当記	果室	研究開発振興課	医療技術情報	推進室	室長	:石井安彦
会討	†区分		一般名	会計		施策	名	I - 3 - 1 【	医療情報化の体	制整備の	普及を	を推進するこ
(具	心法令 体的な も記載)		-			関係する通知		ラン~ 平成21年7月:i-j	ジタル新時代に向 apan戦略2015 たな情報通信技術		戦略∼	- 三カ年緊急プ
(目指簡潔に	の目的 指す姿を :。3行程 以内)					福祉分野にお	おける公	開鍵基盤(HPKI)を	子普及・啓発するた	とめに必要な	経費に	こついて財政支
(5行		HPKIカードの 目指す。	発行•配布体制	別のあり方を検	討の上、そ	その導入に向	けた体帯	引を整備することに	こより、保健医療福	祉分野認証	E基盤((HPKI) の普及を
実施	地方法	□直接実施	■委	託·請負	口補助	ם ל	負担	口交付	口貸付	口その位	他	
			初予算	21年度		22年度		23年度	24年	度	2	5年度要求 27
		プ	正予算				_					
	紅額 •	σ	越し等				_					
執 (単位	行額 :百万円)	況	計									27
		執行	·額									
		執行率	(%)									
	1 4m 72 4 ¢		成果技	指標			単位	21年度	22年度	23年月	复	目標値 (年度)
成男				、情報セキュリ	リティの	成果実績		_	-	-		-
		安全性が高る	まる。 ───			達成度	%	_	-	-		
·~ =: 1	N		活動技				単位	21年度	22年度	23年月	臣	24年度活動見込
活動	旨標及び 助実績 トプット)	нРКIカード <i>の</i>)発行枚数			活動実績(当初見込		-	-	-		_
						み)			(-)	(-)	(-)
	:当たり スト		-			算出根拠			-			
		1 目	24年度当初	予算 25年度	要求			主	な増減理由			
平成 2 4 · 2 5 年度予算内訳		* 委託費		27		平成25年度	新規要認	*				

	事業所管部局による点検							
	評価	項目	評価に関する説明					
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。						
· 予 算	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	・医療機関間で患者の診療データの相互閲覧を、より安全に行うものであり、優先度が高い事業である。 ・HPKIカードの発行・配布体制を整備し、広く国民へ提供					
が状況	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	するため、国が実施すべき事業である。					
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。						
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。						
使れ。	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	-					
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						
目・	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						
=	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。						
活動	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。						
動実績	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。						
成		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	_					
果	_	※類似事業名とその所管部局・府省名						
績	_							
点検結果								
		保健医療福祉分野の公開鍵基盤(HPKI)普及・啓発事業については、普及 て、導入に向けた体制を整備することにより、その普及を目指すものであり						
	į	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)					
		_						
		補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象	となっている場合はその結果も記載)					
		関連する過去のレビューシートの事業	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
平成2:	2年行政	事業レビュー - 平成23年行政						

	※平成23年度実績を記入
資金の流れ	
(貧金の受け	
(資金の例子) (資金の何子) 取り先いるかについて補足 する) (単 位:百万円)	
について補足	
する) (単	
位:百万円)	

		A.			E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		B.			F.	•
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			(17311)			(1173137

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され て記載する。費 目と使が分かる ように記載)						
においてブロックごとに最大の						
金額が支出されている者につい						
て記載する。費						
で実情が分かる						
ように記載)	計		0	計		0
		C.			G.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

				平成2	4年行政	事業	レビューシ	ート		生的	労働省)	
事	業名	先進医	療評価の迅速・効	率化推進事業	担当部	局庁		医政局		作月	或責任者	
	開始 • 定)年度		平成25年度	~	担当	课室	研究	開発振興課		課長	:佐原康之	
会記	†区分		一般会計		施策	名		新医薬品・医療 産業等の振興を		発を促	足進するとと	
(具	処法令 体的な も記載)		-		関係する通知		の留意事項及び	める先進医療及び 先進医療に係る配 4年7月31日厚生	出等の取	扱いに	ついて(医政発	
事業 (目指 簡潔に		先進医療に対する規制緩和を図り、患者保護、最新素化する。 的 そを			最新医療の知り	見保持 の	観点で選定した医	療機関において、	先進医療 <i>0</i>)評価・	確認手続きを簡	
(5行	養概要 f程度以 训添可)						す医療機関が医療 近体制を整備する。	上必要性の高い	亢がん剤に	関する	先進医療を実施	
実別	拖方法 ————	□直接実施	■委託・			負担		□貸付 	□その			
		- प्र	切予算	21年度	22年度		23年度	24年	度 	2	5年度要求 39	
		予	20 P 异 正予算			$\overline{}$						
	算額・ 行額	n	越し等									
(単位	:百万円)	況	計								39	
		執行	額									
		執行率	(%)									
₩	コキースック		成果指標			単位	21年度	22年度	23年)	变	目標値 (年度)	
成身	目標及び 果実績 (トカム)	先進医療承詢	忍件数		成果実績	回	-	-	-		-	
					達成度	%	-	-	-			
>T.∓L.∔	64m 72. + ¢		活動指標			単位	21年度	22年度	23年)	芰	24年度活動見込	
活動	旨標及び 助実績 トプット)	実施計画書の	の評価数		活動実績 (当初見込 み)	細胞	-	- (-)	- (-)	(-)	
単位当たり コスト			-		算出根拠							
V.		費 目 24年度当初予算 25年度要求		W there to	쇼(+ㅁ ==		とな増減理由					
- T		計	0	39	平成25年度 	新規要	· · ··································					

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	評価に関する説明
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・医療上必要な抗がん剤の先進医療の迅速・効率化に 繋げるため必要な事業である。
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	・新成長戦略(H22.6.18閣議決定)などにおいて、先進医療の評価・確認手続きを簡素化することが求められてい
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	ることから国が実施すべき事業である。
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
•	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
動実	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
績、	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_
成里	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
果実績		※類似事業名とその所管部局・府省名	
小具	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
		予算監視・効率化チームの所見	ļ.
	54	予算監視・効率化チームの所見 先進医療評価の迅速・効率化推進事業については、国の委託事業として 等を外部機関が行うものであり、必要性の高い観点から優先度の高い事	、医療上の必要性の高い抗がん剤の実施計画書の審査
	3.9	先進医療評価の迅速・効率化推進事業については、国の委託事業として	、医療上の必要性の高い抗がん剤の実施計画書の審査 業である。
	5	先進医療評価の迅速・効率化推進事業については、国の委託事業として 等を外部機関が行うものであり、必要性の高い観点から優先度の高い事	、医療上の必要性の高い抗がん剤の実施計画書の審査 業である。
	524	先進医療評価の迅速・効率化推進事業については、国の委託事業として 等を外部機関が行うものであり、必要性の高い観点から優先度の高い事	、医療上の必要性の高い抗がん剤の実施計画書の審査 業である。
		先進医療評価の迅速・効率化推進事業については、国の委託事業として 等を外部機関が行うものであり、必要性の高い観点から優先度の高い事	、医療上の必要性の高い抗がん剤の実施計画書の審査 業である。
		先進医療評価の迅速・効率化推進事業については、国の委託事業として 等を外部機関が行うものであり、必要性の高い観点から優先度の高い事	、医療上の必要性の高い抗がん剤の実施計画書の審査 業である。
	352	先進医療評価の迅速・効率化推進事業については、国の委託事業として 等を外部機関が行うものであり、必要性の高い観点から優先度の高い事	、医療上の必要性の高い抗がん剤の実施計画書の審査 業である。 「算要求における反映状況等)
		先進医療評価の迅速・効率化推進事業については、国の委託事業として 等を外部機関が行うものであり、必要性の高い観点から優先度の高い事 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 -	、医療上の必要性の高い抗がん剤の実施計画書の審査業である。 (算要求における反映状況等)

	※平成23年度実績を記入
資金の流れ	
(貧金の受け	
(資金の例子) (資金の何子) 取り先いるかについて補足 する) (単 位:百万円)	
について補足	
する) (単	
位:百万円)	

		A.			E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		B.			F.	•
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			(173117			(1173137

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され て記載する。費 目と使が分かる ように記載)						
においてブロックごとに最大の						
金額が支出されている者につい						
て記載する。費						
で実情が分かる						
ように記載)	計		0	計		0
		C.			G.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号 新25-0009

						平成2	4	年行政	事業	し	ノビューシ ・		,		生党	働省)		
事	業名	災害に強い次世代型医 (独立行政法人国立病院					担当部	担当部局庁			医政局	女局		作成責任者				
	関始・ ア定)年度	平成2			 5年度		担当記	担当課室		国立病院課 国立		立病院機構管理室		室長:小須田幸夫				
会記	计区分			特別会	会計			施策	名	名 IV —		5	政策医療	を向上・	均てん	ん化させる		
(具		独立行 第46条		 人通則法(平	成11年法律第103号)				関係する計画、 通知等				_					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)																		
(5行	災害により被災した医療機関の診療情報について、被災地以外の医療機関からアクセスし必要な診療情報の書き込みを可能とする 害の影響を受けない、災害に強い次世代型医療情報システムを構築する。構築したシステムは、国立病院機構での実証実験を行うと それをパブリックドメイン化(社会全体の公共財産化)することでシステムの普及を目指す。 業概要																	
実別	拖方法	□直接実施 □委		□委	託·請負 ■補助		□ □負担			口交付		□貸付 □その		の他				
予算額 • 執行額 (単位:百万円)			11/ to 2 //r		21年度			22年度			23年度		24年度		25年度要求			
		予 算 第	質 │ 補下予算 │												14,986			
		^弁 の 状	デ 1111 <u></u> 1111 の 4日+41 75															
		1	1人												14,986			
		執行額							_									
		執行率(%)																
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果			· 指標 ·				単位	Ī	21年度	22	2年度	23年	度	目標値(年度)		
		設備整備についての成界					成果実績	_		_			_		_			
		定量的	な成集 	!指標の設定 ────	Eは困難である。 			達成度	%		_			_				
				活動技	指標				単位		21年度	2:	2年度	23年	度	24年度活動見込		
					を定量的な活動指標 難である。			活動実績(当初見込	人		_		_	_		_		
		をもって設定することは困難						み)			(—)	(—)	(_	.)	(–)		
	z当たり iスト		-	— (1	円/)			算出根拠			_							
37z		基目		24年度当初予算							主	な増減	咸理由					
平成24・25年度予算内訳	事:	業費等				14,986												
		計		0		14,986												

事業所管部局による点検											
	評価	項目	評価に関する説明								
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	独立行政法人国立病院機構法第3条に定める国立病院機構の目的については、優先度の高い事業である。								
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 となっていないか。	機構の目的については、優先度の高い事業である。 独立行政法人国立病院機構法第3条に基づき、国の医療政策として国立病院機構が担う事業について予算措								
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-								
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-								
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	-								
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	-								
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-								
	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-								
活	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	独立行政法人国立病院機構法に定める国立病院機構 の目的を遂行する実効性の高い手段と考えている。								
活動実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-								
績	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-								
成		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-								
成果実	_	※類似事業名とその所管部局・府省名 -	-								
績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-								
			見								
	į	1. 発血ル 刈干10.7 二の川									
	į.	災害に強い次世代型医療情報システムの構築については、被災地以外など、災害の影響を受けない災害に強い次世代型医療情報システムを高い事業である。									
	i	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)								
		_									
	補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)										
		_									
平成2	2年行政	関連する過去のレビューシートの事事業レビュー 事業レビュー	「 業番号 投事業レビュー								
1 /2/2	口政	1 次20年11月	ハテバリニー								

	※平成23年度実績を記入
	次十成23十度天順で記入
答会の流れ	
貝亜の肌化 (資金の受け	
取り先が何を	
資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っていて補足 する)(単 位:百万円)	
について補足	
する)(単	
位:百万円)	

		A.			E.	
			金額(百万円)	費 目		金額(百万円)
		世 返	(百万円)	具 日	快速	(百万円)
	計		0	計		0
		В.			F.	I
			金 額 (百万円)	費 目	使途	金額
		一	(百万円)	貝 日	发	金額(百万円)
費目・使途 (「姿全の落ね」						
においてブロッ						
クごとに最大の						
金額が支出されている者につい						
て記載する。費						
日と使述の双方で実情が分かる						
費目・使途 (「資金の流れ」 においてしまいでした。 のでででででででででででででででででででででででででででででできませた。 でででででででできないででででできます。 ででででできないでできます。 は、これではできます。 でできますができます。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで			_			
	計		0	計		0
		C.			G.	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			(Д/31 1/			(Д/31/1/
	計		0	計		0
		D.			H.	•
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
		火	(百万円)	具 口	区 巡	(百万円)
	=1			=1		
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

Α.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号 新25-0010

						平成2	4:	年行政	事業	レ	/ビューシ ·	<u> </u>			生党	働省)
事	業名					inの充実・強化 設整備費補助金	:)	担当部	局庁			医政局			作	或責任者
	関始・ ア定)年度			平成25	年度			担当記	课室		国立病院課	国立病院機	構管	理室	室長:	小須田幸夫
会記	計区分			特別会	 会計			施策	名		IV — 1 — 5	 5 政策	医療	 を向上・	均てん	んとせる
(具		第46条	,			年法律第103		関係する通知	等				-	_		
(目排筒潔に	の 目的 指す姿を こ。3行程 以内)			構の災害拠点 害対応機能を			it é	事家発電設 備	情の増	設、	地震等の故障リ	スク低減なと	複数	牧系統の自領	家発電	設備を整備する
(5行 内。別	業概要 f程度以 引添可)			完の指定要件 応機能を強化			設備	が が	:震等 (:	こよ	る故障リスク低減	成のための複	数系	統の自家教	裕電設 化	帯の整備を行う
実別	拖方法	□直接	実施	□委詞			補助		負担		口交付 	口貸付		□その	-	
			<u> 44 ½</u>	刀又答		21年度		22年度			23年度		24年	度	2	5年度要求
		算補		切予算 E予算	<u></u> _				_							5,476
	算額 • .行額			u wu wu wu wu wu wu wu wu wu wu wu wu wu												
	.1」 6段 ∶百万円)	況		計												5,476
		執行額							_							
		執行率(%)														
成果目	目標及び	成果指標			旨標	標			単位	ב	21年度	22年度		23年	度	目標値(年度)
成身	果実績がある。	施設整備についての成果は、整備の完了であ り、定量的な成果指標の設定は困難である。				成果実績	_		_			_		_		
						定は困難である。 		達成度	%		_	_		_		
江东+	ヒ4面 ひょぐ			活動打	旨標				単位		21年度	22年度		23年	度	24年度活動見込
活動		施設整備についての活動を、定量的な活動指標					活動実績(当初見込	人		_	_		_		_	
		をもって設定することは困難						み)			(—)	(_)	(_)	(–)
単位当たり コスト		— (円/)	_	算出根拠				-	_				
亚		11/11/11		24年度当初	予算	25年度要求					主	とな増減理E	<u> </u>			
平成24・25年度予算内訳	事	業費等		0		5,476										
		計		0		5,476	\exists									

	事業所管部局による点検									
	評価	項目	評価に関する説明							
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	独立行政法人国立病院機構法第3条に定める国立病院機構の目的については、優先度の高い事業である。							
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 となっていないか。	機構の目的については、優先度の高い事業である。 独立行政法人国立病院機構法第3条に基づき、国の医療政策として国立病院機構が担う事業について予算措							
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	_							
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	_							
の本	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	_							
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	-							
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-							
·	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								
活	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	独立行政法人国立病院機構法に定める国立病院機構の目的を遂行する実効性の高い手段と考えている。							
動	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-							
績、	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-							
成果	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-							
成果実績		※類似事業名とその所管部局・府省名 -	-							
小兵	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	_							
点検結果										
	<u>l</u>	予算監視・効率化チームの所	見							
		国立病院機構の災害対応設備の充実・強化については、災害拠点病院 り、災害対応機能の充実・強化を図るための事業であり、必要性の観点								
	į	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) 							
		_								
	補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)									
		<u> </u>								
		関連する過去のレビューシートの事	業番号							
平成2	2年行政	事業レビュー ー 平成23年行政	女事業レビュー ー							

	※平成23年度実績を記入
	次十成23十度天順で記入
答会の流れ	
貝亜の肌化 (資金の受け	
取り先が何を	
資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っていて補足 する)(単 位:百万円)	
について補足	
する)(単	
位:百万円)	

		A.			E.	
			金額(百万円)	費 目		金額(百万円)
		世 返	(百万円)	具 日	快速	(百万円)
	計		0	計		0
		В.			F.	I
			金 額 (百万円)	費 目	使途	金額
		一	(百万円)	貝 日	发	金額(百万円)
費目・使途 (「姿全の落ね」						
においてブロッ						
クごとに最大の						
金額が支出されている者につい						
て記載する。費						
日と使述の双方で実情が分かる						
費目・使途 (「資金の流れ」 においてしまいでした。 のでででででででででででででででででででででででででででででできませた。 でででででででできないででででできます。 ででででできないでできます。 は、これではできます。 でできますができます。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで			_			
	計		0	計		0
		C.			G.	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			(Д/31 1/			(Д/31/1/
	計		0	計		0
		D.			H.	•
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
		火	(百万円)	具 口	区 巡	(百万円)
	=1			=1		
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

Α.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号

新25-0011

						<u> </u>	مالد ك	10	争未留			25-0011
_	alla Am				<u>5</u> :			レビューシ		(月		労働省)
	業名	歯科診		に関する実証事業		担当部			医政局			成責任者
終了(予	開始 • 定)年度		平成25年	度~		担当記	果室		科保健課			:上條英之
会計	†区分		一般会	計		施策	名		日常生活圏の中 きる体制を整備			刃な医療が効
(具化	心法令 体的な も記載)				関係する 通知				_			
(目指簡潔に	歯科医療機関が、電子カルテにおいて保有する身元 事業の目的 (目指す姿を 潔に。3行程 度以内)					確認に資す	る歯科	診療情報の標準化	を行う。			
事業概要 (5行程度以 内。別添可)				遺体の照会に備え、 E行い、その内容を				ルテにおいて保有 [*] ぎする。	する身元確認に資	でする診療情	情報の材	票準化とその活
実施	方法	□直接実施	■委訂	ť·請負 □	補助	t □:	負担	口交付	口貸付	□その	他	
				21年度		22年度		23年度	24年	度	2	5年度要求
		予当	初予算		_							21
Au	¥額 • 行額	算が補の	正予算									
執		┃状┃ 磔	越し等									
(単位:	百万円)	況	計									21
		執行										
		執行率	(%)									
					単位	21年度	22年度	23年	度	目標値 (24年度)		
成界	目標及び ≷実績		成果実績	——— 数	-	_	-		-			
(アウ	トカム)	標準化に取り	達成度	%	_	-	_					
			活動指				単位	21年度	22年度	23年	度	24年度活動見込
活重	信標及び か実績 トプット)	身元確認に	活動実績 (当初見込 み)	数	-	- (-)	- (-)	- (-)			
単位当たり コスト			-			算出根拠			-			
		費目	24年度当初于	5算 25年度要求					とな増減理由			
平成24・25年度予算内訳	季	託費	_	21	티 	平成25年度	新規要	□求				
内訳												
		計	-	21								

事業所管部局による点検									
	評価	項目	評価に関する説明						
目 的 状・	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業	・国として東日本大震災での教訓を踏まえ、今後起こりうる大規模災害による身元不明遺体の照会に備え、身元						
況予 算	0	となっていないか。	確認に資する歯科診療情報の標準化を行うことにより、 国民が安心した生活を営めるよう優先度的に実施する 必要がある。						
変	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	必安かめる。						
金の	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-						
使流れ、		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 一 受益者との負担関係は妥当であるか。							
	_	支無者との負担関係は安当であるが。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。							
費目	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。							
-	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。							
活動		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。							
実績		活動実績は見込みに見合ったものであるか。							
成		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担と	-						
深果実績	-	なっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名							
績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。							
		予算監視・効率化チームの所見							
	哲	函科診療情報の標準化に関する実証事業については、歯科医療機関が テうためのものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。							
	<u> </u>	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)						
		_							
$ldsymbol{ld}}}}}}$									
		補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象	象となっている場合はその結果も記載)						
		_							
		関連する過去のレビューシートの事業	性番号						

資 のでである。 資 のでである。 次 ののがいて、 ののがいて、 のでである。 ででは、 ののがいて、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のでは	

				E.			
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	計		0	計		0	
	HI V		н.	F.			
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目		金額(百万円)	
	具 口	皮	(百万円)	具 口	文 迩	(百万円)	
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されて記載る者について記載をある。 を関係が分かると、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、							
(「資金の流れ」 においてブロッ							
クごとに最大の 金額が支出され							
ている者につい							
目と使途の双方							
で実情が分かるように記載)							
	計		0.0	計		0	
	C.			G.			
	費 目	使 途	金額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	
	計		0	計		0	
		D.			Н.		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
			() ()			(
	= ∔		0	計		0	
	計		U	āT		l ^U	

支出先上位10者リスト A.

	支 出 先	業務概要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1					

B.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					